授業科目名・形態	救急医療と看護　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	水木暢子・村川德昭・飛澤貴子・成田亜紀子	実務経験の有無	有	開講期	４年前期
科目ナンバリング	N7-4005				

【授業の主題】

救命救急医療における医療・看護活動について学ぶ。救命救急医療における看護の役割を理解した上で、適切な看護ケアを実践するために必要な知識・技術を身につける。また、生命の危機的状態にある患者・家族の特徴と治療、病院等における救急・急変時の対応、救急医療における多職種の連携について学ぶ。

【到達目標】

1） 救急・災害時の医療システム、患者の受け入れ状況など医療体制の現状を理解する。
2） 救急看護のアセスメントに必要な基礎的な知識を習得する。
3） 救急･急変時の初期対応や応急処置のスキルの基本的な知識・技能を習得する。
4） プレホスピタルケアの現状と救急医療における多職種の連携を理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回　救急および災害医療と看護総論　（村川）
第 2 回　救急・災害医療の諸問題（村川）
第 3 回　救急・災害医療における初期治療（村川）
第 4 回　CBRNE 災害対策医療（村川）
第 5 回　Guideline-2020 に基づいた心肺蘇生法（村川）
第 6 回　救急医療施設における看護の実際（成田）
第 7 回　プレホスピタルケアと応急処置の実際（ゲストスピーカー：救急救命士）
第 8 回　救急・急変時に必要な基本的技術（演習）（水木・飛澤）

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。第７回はペアワークまたはグループワークによる演習も行う。第８回は第１回～第７回の講義で学んだ内容を基に、実習室で基本的な救急・急変時の技術演習を行う。

【事前・事後学習】

講義内容に関する事前学習を毎回１時間以上、技術演習の事前学習（DVD 視聴含む）を２時間程度行ってください。レポート作成や課題学習のための自主学習をトータル 20 時間程度行ってください。

【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅱ・Ⅲ、成人・老年看護学実習Ⅱ、ヘルスアセスメント、災害看護学

【教科書等】

特に指定しない。必要時、資料を配布し、その他参考図書は随時提示する。

【参考文献】

系統看護学講座別巻　クリティカルケア看護学　医学書院
系統看護学講座別巻　救急看護学　医学書院
医療情報科学研究所 編：看護がみえる vol. 3　フィジカルアセスメント 第1版 メディックメディア

【成績評価方法】

レポート（80%）、講義・演習への参加状況（20%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

・ 県のメディカルコントロール協議会委員および協議会会長職務の経験をもとに実践的な講義にします。
・ 高度救命救急センターで就業する現職の看護師の実体験をもとに専門分野の知識・技能を教授します。

【学生へのメッセージ】

救急医療に関連したニュースに関心を持ち、問題意識をもって取り組みましょう。